

CSR活動アクションプラン

東洋アルミでは、創立100周年の2031年に向けて策定した東洋アルミグループ・サステナビリティ・ビジョンを念頭に置き、5つのマテリアリティ（CSR重要課題）について、目標を設定して取り組んでいます。

2024年度の活動実績は、下表の通りです。次頁以降では各マテリアリティごとの具体的な取り組み内容を掲載しています。2031年度の長期目標達成に向け今年度も活動を継続していきます。

マテリアリティ（CSR重要課題）	主な活動項目	2024年度の活動実績	長期目標（2031年度）
1 未来を創る イノベーション	既存事業：SDG3、7、9、11、12 に貢献する製品売上向上	SDGs貢献製品売上金額 2019年度比1.6%減少	SDG3、7、9、11、12に貢献する 製品売上高3倍に増加（2019年度比）
	新規事業：第4の柱 （事業）を創出	事業化1件に向けて実績積み重ね中 新たに半導体関連の商材取り扱い開始	事業化2件
2 環境保全	事業活動からのCO ₂ 排出量削減（2013年度比）	2013年度比35.8%削減※	40%削減（2013年度比）
	太陽電池の リサイクルシステム構築	太陽電池リサイクル関連企業との連携や 技術開発動向を注視	太陽電池リサイクルシステムの構築、 リサイクル開始
	アルミニウムの リサイクルシステム構築	一部のお客さまの余剰材再生実施の拡大 加工屑からアルミニウムを抽出する技術 （ダブルサイクル™）開発継続	（構築したシステムによる） アルミニウムリサイクルの一般化
	紙容器の リサイクルシステム構築	紙容器の工程屑を100%リサイクルするため の検証を実施 2025年度中に商品の化粧箱への適用を 目標に性能検証着手	（構築したシステムによる） 紙容器リサイクルの一般化
	事業活動からの 産業廃棄物削減	前年度比8.3%削減	最終埋め立て産業廃棄物量ゼロ （全てリサイクルでゼロエミッション）
3 多様な 人財の活躍	女性採用比率の向上	新規採用における女性比率28.5%※	新規採用における女性比率30%
	シニア人財の活躍	段階的な定年引き上げの検討 再雇用後の処遇を見直し （2025年7月から実施）	70歳定年制を中心とした制度の整備完了
	自律型人財の活躍	新人事制度にて、 ライン職群評価への展開完了	自律型人財の育成の発展的な継続
	健康経営の推進	各拠点による健康イベントの実施	健康経営の発展的な継続
4 品質と安全	重大品質クレームの削減	重大品質クレーム1件	重大品質クレームゼロ
	休業災害、不休業災害、 火気事故災害の削減	休業災害3件、不休業災害11件、 火気事故7件 微傷災害15件（前年度比増減なし）	休業災害ゼロ、不休業災害ゼロ、 火気事故災害ゼロ、 微傷災害半減（前年度比） 重点取組事項：回転物関連・運搬具・ 場内転倒事故対策の強化
5 ステークホルダー との協働	さまざまなステークホルダー （地域、顧客、従業員など）との 対話を通じて信頼度・ 満足度の向上	有識者ダイアログ1件実施 メディアやWebでの情報発信や 従業員参加型の社内広報に注力 学生・生徒・児童への支援実施	さまざまなステークホルダーと 良好な関係を築き、 課題解決の一翼を担っている

※集計方法を2024年度実績から変更